

第1回IKA国際空手協会南関東ジュニア空手道選手権大会 同時開催 第2回OYAJIバトル(関東OYAJIランキング大会)

大会式次第

～第1部～	
9:00～10:20	開場・受付 入口で検温と問診票を提出してください。欠場連絡は受付にご連絡ください。
10:30～	試合開始(試合終了後関係者以外全員退場・会場消毒作業)
～第2部～	
13:00～13:55	開場・受付 入口で検温と問診票を提出してください。欠場連絡は受付にご連絡ください。
14:00～	試合開始

(注意) **全クラス各コートにて決勝戦まで行う** 表彰は各コートにて行います。(賞状は後日郵送します)
 開会式・閉会式は行いません。(完全入れ替え制となります)
各自試合が終わり次第、速やかに御帰宅をお願いいたします。(感染対策にご協力お願いします)
 当日は試合進行状況などにより時間が変更になる場合がございますのでその点はご了承ください。

Aコート		Bコート		Cコート	
第1部【46名 42試合】		第1部【52名 48試合】		第1部【46名 43試合】	
初級 小学5～6年男子の部 A	11名	初級 小学2年男女混合の部 B	11名	初級 幼児男女混合の部	3名
初級 小学5～6年男子の部 B	15名	初級 小学3年男女混合の部 A	18名	初級 小学1年男女混合の部	13名
初級 小学5～6年女子の部	8名	初級 小学4年男女混合の部 A	11名	初級 小学2年男女混合の部 A	13名
初心・初級 中学生男子の部	12名	初級 小学4年男女混合の部 B	12名	初級 小学3年男女混合の部 B	17名
第2部【32名 26試合】		第2部【49名 45試合】		第2部【49名 46試合】	
初心 小学5～6年男子の部 A	4名	初心 小学2年男女混合の部 B	9名	初心 幼児男女混合の部	17名
初心 小学5～6年男子の部 B	5名	初心 小学3年男女混合の部 A	16名	初心 小学1年男女混合の部	19名
初心 小学5～6年女子の部	5名	初心 小学3年男女混合の部 B	16名	初心 小学2年男女混合の部 A	13名
OYAJI ヤングマスターズ(40～44歳の部)	3名	初心 小学4年男女混合の部	8名		
OYAJI マスターズ(45～49歳の部)	2名				
OYAJI グランドマスターズ(50～54歳の部)	9名				
OYAJI キングマスターズ(55～59歳の部)	4名				

IKA国際空手協会 競技規定

【試合時間】 初心 本線マスト 1分 初級 本線マスト 1分30秒 OYAJI 49歳以下 本線 2分 50～59歳 本線 1分30秒 60～65歳 本線 1分 (すべて延長なし)

【防具着用表】

防具	ヘッドガード	拳サポーター	スネサポーター	膝サポーター	ファールカップ	チェストガード
幼年	○	○	○	任意	○	×
小学女子	○	○	○	3年以上義務	○	2年以下不可 3年以上義務
小学男子	○	○	○	3年以上義務	○	×
中学女子	○	○	○	○	○	○
中学男子	○	○	○	○	○	×

<OYAJIの部 共通防具>
①ヘッドガード任意(フェイスシールド必須) ※フェイスシールドをつけたヘッドガード or マスク着用(スポーツ用推奨)をお願いします。 ※シールドに指定はありませんがフェイスガードの前面(開いている部分)がすべてしっかりと覆うものにしてください
②グローブ(オープンフィンガーに限る)、膝サポーター、脛サポーター(布製)及びファールカップ着用必須
③マウスピースは任意

※幼児のファールカップ、ヒザサポーターなど使用していない場合の事故などは自己責任となります。小学生以上は規定を守らない場合は失格となります。

※ヘッドガード、サポーター類はすべて持参してください。貸し出しはありません。(赤タスキも各自持参)

※フェイスシールド着用必須(シールドに指定はありませんがフェイスガードの前面(開いている部分)がすべてしっかりと覆うものにしてください)

※サポーター類はJKJO指定のサポーターではなくても使用可能(類似品)です。

※ヒザサポーターは3年生以上義務となります。2年生以下は自由です。

【1本勝ち】

○反則箇所を除く部分への突き・蹴りなどで瞬間的に決め、そのダメージにより相手を倒した場合はすべて1本勝ちとします。

○ダメージにより、戦意喪失した場合。

【技あり】

○反則箇所を除く部分への突き・蹴りなどを瞬間的に決め、そのダメージにより一時的に動きが止まった場合。又は、崩れた場合、戦意を喪失した場合は技ありとします。

○ノーガードで相手選手の上段に蹴りわざがヒットした場合。

○前蹴り・下段蹴りで相手選手をきれいに転倒させて、下段突きをした場合。

○下段蹴りなどで、相手選手が足を引かず様な場合。

○同時に蹴りが入った場合は、先に入った方が技ありとし、まったく同じ場合は相打ちとし技ありとはならない。

○胴廻し回転蹴りをかわし、タイミングよく下段付きをした場合。

【反則】

○掴み、掴んでからの攻撃。

○掌低、または正拳による押し、手・肘による顔面への攻撃。

○頭突き、金的への攻撃。

○倒れた相手、背後からの攻撃。

○故意に場外に出ること。

○故意に倒れ、相手に攻撃をさせない事。かけ逃げなど。

○上段ヒザ蹴り。(幼年・小学生は反則。中・高校生は有効)

○以上の反則には審判より注意が与えられ、注意4回で失格(反則負け)となります。